



学 年	低学年	中学年	高学年
人間関係形成・社会形成能力	<b>あいさつ・返事をする</b>	<b>協力・信頼する</b>	<b>協力・信頼する</b>
	・自分から関わりをもととする。 ・友だちと仲良く遊び、協力し合って活動する。 ・お世話になった人に感謝したり、友だちに親切にする。 ・「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。 ・友だちの発表の良さを見つける。 ・「いや」ということをはっきり言う。 ・自分の気持ちや考えをみんなの前で話す。	・友だちと協力し合って活動する。 ・友だちの良いところを認め、励まし合う。 ・先生や家族など、自分を支えてくれる人々に感謝する気持ちを持つ。 ・友だちの考えや意見をきちんと聞いたり、友だちの気持ちを理解しようとする。 ・友だちに対していけないことは「いけない」と言う。 ・自分の良いところや、改善するところを見つける。 ・自分の考えや気持ちをわかりやすく表現する。	・自分の役割と責任を明確にして、協力し合って活動する。 ・思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考え行動しようとする。 ・マナーを身につける。 ・自分の考えをわかりやすく言ったり、友だちの考えをしっかりと聞き、自分の考えと比べ、異なる考えも理解しようとする。 ・友だちであっても、違った意見をはっきり言う。 ・根拠を述べて、自分の考えを言う。
	<b>自分のことは自分でする</b>	<b>自分の役割に主体的に取り組む</b>	<b>自分の役割に主体的に取り組む</b>
	・自分の好きなもの・大切なものを持つ。 ・学校で良いこと悪いことがあることが分かる。 ・自分のことは自分で行おうとする。 ・自分の身の回りの整理をする。 ・決められた時間や約束を守る。	・自分のよさを見つけることができる。 ・自分のやりたいことや良いと思うことを考え、進んで取り組む。 ・してはいけないことが分かり、自制しながら生活する。 ・進んできまりを守る。	・自分の長所や欠点に気づき、自分らしさを発揮する。 ・自分のできることややりたい事が分かりそれを伸ばそうとする。 ・進んで役割を持ち、責任を持って果たそうとする。 ・生活や学習上の課題を見つけ、自分の力で解決しようとする。 ・意義を考えてきまりを守る。
課題対応能力	<b>分からない事を調べる</b>	<b>見通しを持って計画的に行動する</b>	<b>見通しを持って計画的に行動する</b>
	・観察をしたり、図鑑を見たりする。 ・問題が起きたときにどうすればよいか考える。 ・自分が調べようとする課題を見つける。	・分からないことをや図鑑で調べたり、人に聞いたりする。 ・問題が起きたときに、その原因を調べ、何をすればいいかを考える。 ・課題について、それを解決するためにいろいろな方法で取り組む。	・資料やインターネットを利用して必要な情報を集め、活用する。 ・問題が起きたときに、その原因を調べ、解決策を考え、今後を予測する。 ・課題について、見通しを持って計画的に進めたり、そのやり方について改善を図ったりする。
キャリアプランニング能力	<b>係や当番活動をする</b>	<b>目標を持って努力する</b>	<b>目標を持って努力する</b>
	・係や当番の活動をする。 ・栽培活動を通して、育てることの楽しさがわかる。 ・家の手伝いや当番・係の仕事・役割の必要性が分かり、進んでやる。 ・身近で働く人々の様子がわかり、興味・関心を持つ。	・係や当番活動を工夫し、進んで取り組む。 ・色々な職業や生き方があることを理解する。 ・働くことの楽しさや、人のために役立つことの喜びが分かる。 ・日常生活や学習が自分の将来と結びついていることに気づく。 ・将来の夢や希望を持つ。 ・自分の趣味や関心、特技、将来の夢等について話す。	・委員会の一員として自覚をもち、自発的に活動する。 ・身近な産業・職業の様子やその変化が分かる。 ・施設・職業見学等を通し、働くことの大切さが分かる。 ・社会生活には色々な役割があることを考える。 ・「憧れとする職業を持ち、今、しなければならぬことを考える」 ・将来の夢や希望をもち、実現をめざして努力しようとする。 ・職業体験を通して、将来の夢を持つことができる。

キャリアログの活用：個々の児童がキャリア教育に関する振り返りを学年ごとにワークシートにまとめる

教科・領域等における指導目標

各教科	特別の教科 道徳	特別活動	総合的な学習の時間
○学習規律を定着させ、基礎的・基本的内容を身に付け、表現力・判断力・思考力を高める。 ○授業で、児童の言語活動を充実させ、主体的に学ぶ態度・「話す力・書く力」を育成する。 ○学習課題を設定し、問題解決に向けて取り組む態度を育てる。 ○学習課題を通じて、つながり合い、高め合う態度を育てる。	○学校全体の教育活動を通して道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。 ○働くことの大切さを知り、進んで働く意欲を養う。 ○目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないで努力する態度を育てる。	【学級活動】 ○学級の一員としての役割を果たす。 ○話し合い活動を通して生活上の諸問題を解決する。 ○生活の充実と向上を目指して活動する。 【学校行事】 ○集団行動の望ましい態度や、協力する態度を育てる体験的な活動を行う。 【児童会活動】 ○学校生活をよりよくするため課題に向けて取り組み、問題を解決する。	○学び方やもの考え方を身に付け、問題解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができる。 ○自然体験やボランティア活動などの社会体験、見学や調査、観察・実験、発表や討論、ものづくりや生産活動など体験的な学習を通して、自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し問題を解決することができる。

「つながり」を深める

保・小・中の連携	家庭との連携	地域との連携
情報を共有し、連携して子どもたち一人一人の発達課題に対する指導・支援を組織的・系統的に行う。 ・小中一貫教育 ・保幼小連絡会 ・小中連絡会 ・十小こども文化発表会 ・研究授業の交流 など	家庭と学校との「つながり」の中で、子どもたちに社会人・職業人としての自立を促していく。 ・地域懇談会 ・家庭学習の手引き ・手伝いの奨励 ・生徒指導便り ・家庭読書 など	地域の大人を招く機会を多く作り、ふれあいの中から、子どもたちにあこがれの大人のイメージを持たせて、「なりたい自分」の姿を具現化させる。 ・人材バンク ・生活科の取り組み ・総合的な学習の時間の取り組み ・十小パートナーシップ制度 など